

連携プレーで陣地獲得

27日に東大阪市花園ラグビー場で開幕する第96回全国高校ラグビー大会に、県代表として5年連続16回目の出場を果たす土佐塾（高知市）。「全国での1勝」を目指し、日々練習に汗を流している。【松原由佳】



花園に向けて練習で汗を流す土佐塾の選手ら。高知市北中山の土佐塾で

土佐塾——戦力分析

今年にはNO8の新階級。今年はミスが多かった。幸主将(3年)を中心に、「エリアマ」と話す。「エリアマ」を大きく動かすこととを第一に練習に取り組んだ。FB片岡倫選した個人プレーが多か手(3年)がキックでエリマを拡大し、ゲームメド内でエリマごとの動きーク。片岡選手、WTBをより意識させるように竹嶋大貴選手(3年)らした。文武両道を重んじる高がトライゲッターとして、試験前と試験点を重ねる。

「全国1勝へ」

チームの平均身長は172.5センチ、平均体重は75.1キロと小柄な選手が多いが、早くボールを動かすことで体格をカバーする。期間中の約2週間は練習がない。各自が自主的に走ったり、体力維持する。初戦の相手は青森北(青森県)。西村監督は「青森北はディフェンスが強い」と話

「昨年と同じ99点だが、昨年の方が内容が良かった。花園での1勝から遠ざかっており、自分たちが歴史を変える最後のチャンス」と意気込む。初戦は28日午前10時から第2グラウンドで行われる。



第96回全国高校ラグビー大会

初戦の相手は青森北(青森県)。西村監督は「青森北はディフェンスが強い」と話